

彦根市子ども・若者プラン 計画目標値・実績値

資料 4

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値						令和6年度		令和6年度実績値等に対する担当課意見
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
1 子ども・若者の健やかな育ちに向けたまちづくり												
1	◎彦根市子ども・若者総合相談窓口の相談者数(延べ人数) 【4】【5】	少年センター	590人	800人	1,086人	1,359人	758人	827人	653人	81.6%	△	【実績値に関する意見】 内訳は、総合相談延べ653人、カウンセリング147人。相談からカウンセリングに繋がる人が昨年より12人増加した。  【実績値以外の事項に関する意見】 総合相談窓口で運営しているひきこもり傾向の若者の居場所であるサロン利用者は延べ297人、家族サロン利用者数延べ7人であった。
2	彦根市子ども・若者総合相談窓口の相談者数(実人数) 【4】【5】	少年センター	70人	100人	77人	89人	109人	103人	105人	100.0%	○	【実績値に関する意見】 内訳は相談対象の年代別に、幼児2人、小学生4人、中学生8人、高校生11人、大学生3人、10代11人、20代28人、30代13人、40代以上・年齢不明24人。ひきこもり、就労、不登校の相談が多く、特に高校・大学の中退や離職後にひきこもりがちになった20代の相談が多い。  【実績値以外の事項に関する意見】 高校等の中退からひきこもるケースを防ぐため、あすくる彦根と連携して高校への訪問を実施。また、中学卒業後に無所属になる子に繋がるように中学校との連携を深めた。
3	博物館体験学習参加実人数 【21】	彦根城博物館	5人	80人	-	36人	60人	87人	50人	62.5%	△	【実績値に関する意見】 目標値は「キッズサマースクール」と「わくわく体験スクール」という2つのイベントの参加者を足したものである。令和6年度は、両イベントともに、申込数および参加者実績が定員に満たず、目標値を下回る結果となった。 令和5年度までの申込数は、両イベントともに定員並もしくはそれ以上であり、イベントの関心の高さを感じていたところであるが、令和6年度は両イベントともに定員の半数程度に大幅減となった。これは、令和6年度、募集方法を変更(令和5年度まで行っていた市内小学校全児童あてのチラシ配布を取りやめ、小中学校向け保護者連絡ツール「tetoru」(デジタルチラシ)による配信に変更したことで、児童や保護者に当該イベントの開催についての十分な周知に繋がらなかったことが大きな要因であると考えている。  【実績値以外の事項に関する意見】 多くの方に参加していただけるよう、当該イベントの開催について、効率良く、より広く周知する方法を検討する必要がある。
4	子ども文芸作品応募数 【23】	文化振興課	5,093点	7,000点	7,778点	8,378点	6,870点	6,590点	6,054点	86.5%	△	【実績値に関する意見】 応募件数が減少傾向にあるため、応募件数の増加に努めていく必要がある。  【実績値以外の事項に関する意見】 4部門中、部門ごとの応募件数に偏りがある(俳句3,507点、川柳1,625点、短歌351点、詩571点)ため、応募件数の少ない部門の応募者数を増加させたい。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値					令和6年度		令和6年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
5 図書館の未就学児の登録者数 【24】	図書館	840人	1,000人	742人	727人	726人	687人	662人	66.2%	▼	<p>【実績値に関する意見】 出生数に伴い、指標の達成率は減少したが、彦根市の未就学児数から登録率を見ると、令和4年度末 未就学児数 5,794人12.5% 令和5年度末(館内改修工事による休館有) 未就学児数 5,492人12.5% 令和6年度末 未就学児数5,223人 12.7%となり、現状維持ないし若干の増となった。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 読書習慣の定着・図書館の利用を図り、絵本を介した乳幼児と保護者の温かいひとときの啓発を行うため、10か月児健康診査の際にチラシによる図書館の利用案内と本の紹介を行う。小さな子どもを連れて保護者が気兼ねなく来館できる時間帯「ひよこタイム」を周知していく。</p>
2 子ども・若者の育ちに応じたまちづくり											
6 地域子育て支援センターの整備 【34】【35】【39】	子ども・若者課	3か所	4か所	3か所	3か所	4か所	4か所	4か所	100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 令和4年度から4か所目を開設し、目標を達成することができた。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 週5日開設し、交流、相談、情報提供および地域の方による作品展示や読み聞かせ等、地域支援の取組みを実施した。</p>
7 保育所待機児童の解消 【47】【50】【51】	幼児課	29人	0人	56人	9人	1人	1人	1人	0.0%	△	<p>【実績値に関する意見】 新設園の開設による量的拡充とAIによる入所審査により、第1希望への入所率は上がったものの、運転免許がなく、徒歩圏内の保育所に可能枠がない児童がいたため、待機児童となった。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 待機児童を減らせるように入所調整を進める。</p>
8 利用児童数(2号、3号)	幼児課	2,739人	3,057人	2,787人	2,816人	2,848人	2,706人	2,761人	90.3%	△	<p>【実績値に関する意見】 新設園の開設により量的拡充を行い、利用児童数が増加に転じた。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 保育所等の利用者数は増えたが、幼稚園・認定こども園(1号認定)は減少している。</p>
9 保育士数	幼児課	719人	834人	747人	754人	781人	808人	837人	100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 採用に向けた取組強化と、保育士の離職防止に向けた取り組みによる退職者の減により、保育士数は増加となった。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 保育人材確保に向けた取組として、管理職等を対象とした人材マネジメント研修を実施したほか高校生の保育士体験に注力した。また、京都市の養成校を訪問し、今後の事業連携を模索した。</p>

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値					令和6年度		令和6年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
10 児童生徒の全国学力学習状況調査 における正答率の全国平均との差(小 学校) 【55】【56】	学校教育課	-1.1%	0.6%	-	-2.5%	-0.9%	-0.9%	-2.6%	90.6%	▼	【実績値に関する意見】 昨年度から0.7ポイント低下する結果となった。 小学校は、全国から10ポイント以上下回っている学校が、R03は3校であつたが、R04はほぼゼロ、R05・R06もゼロと改善しており、各校間の差、全国との差が縮まり、全体的には底上げされている。  【実績値以外の事項に関する意見】 規範意識や生活習慣・学習習慣については、全国平均よりも高い水準を保っている。 「記述式問題」の無回答率は、全国よりも1.17ポイント低く、自分の考えを粘り強く書く力は育っている。
11 児童生徒の全国学力学習状況調査 における正答率の全国平均との差(中 学校) 【55】【56】	学校教育課	-1.8%	0.6%	-	-1.4%	1.8%	-2.9%	-3.8%	87.9%	▼	【実績値に関する意見】 昨年度から0.9ポイント低下する結果となった。 中学校では、国語科「読むこと」の領域において改善が見られ、全国平均との差が縮まったものの、全ての領域で全国平均を下回った。  【実績値以外の事項に関する意見】 規範意識や生活習慣・学習習慣については、全国平均と同水準あるいは上回っており、高い水準を保っている。 中学校の記述式問題の無解答率が全国平均よりも高い傾向であつた。
12 全国体力・運動能力、運動習慣等調 査の体力合計点(小5男子) 【56】	学校教育課	55.24点	56.00点	-	52.00点	50.64点	52.68点	52.11点	93.1%	▼	【実績値に関する意見】 昨年度から0.57ポイント低下し、県平均値を上回ったものの、全国平均値を下回る結果となった。種目別に見ると、反復横とび、ソフトボール投げの2種目で全国を上回ったものの、握力、上体起こし、長座体前屈、20mシャトルラン、50m走の5種目において全国平均値を下回った。  【実績値以外の事項に関する意見】 平日の運動量がやや少ないことから、普段から体を動かして遊べるよう働きかけることは必要であると考え。また、スクリーンタイムが全国や県の平均値と比べ長い傾向にあることから、デジタルセーブの推進が必要である。
13 全国体力・運動能力、運動習慣等調 査の体力合計点(小5女子) 【56】	学校教育課	56.30点	57.00点	-	53.64点	51.51点	52.29点	52.31点	91.8%	▼	【実績値に関する意見】 昨年度から0.02ポイント向上し、県平均値を上回ったものの、全国平均値を下回る結果となった。種目別に見ても、全ての種目で全国平均値を下回った。  【実績値以外の事項に関する意見】 運動意欲に課題が見られ、運動やスポーツを「好き」「やや好き」と答えた児童の割合が全国や県よりも少ない結果となった。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値					令和6年度		令和6年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
14 ◎彦根市子ども・若者支援地域協議会実務者会議の参加団体・機関等数【3】【81】【82】	子ども・若者課	31団体	40団体	38団体	49団体	33団体	39団体	31団体	77.5%	□	<p>【実績値に関する意見】 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を包括的に支援し関係機関等のネットワークの構築を図るために、代表者会議を1回(要保護児童対策地域協議会と同日開催)、実務者会議を2回実施した。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 実務者会議については、支援者同士の情報共有や日頃の課題を話し合える有意義な会議となった。ただ、当事者の就労準備を支援するような地域資源の開拓にはなかなか至らなかった。次年度からは両協議会を統合し、新たな協議会を設置することから、子どもから若者に至る切れ目ない支援に向けた連携強化を一層図っていきたい。</p>
3 みんなが共に育つために子ども・若者を支援するまちづくり											
15 家庭相談件数(実人数)【87】【88】【90】	子育て支援課	766件	947件	838件	964件	972件	967件	954件	100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 相談件数は前年度からやや減少したものの、高止まりしている状態である。職員の資質向上を図ることに加え、相談支援の質を担保するためにも、個々の相談内容と支援方針の精査が必要である。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 困難な状況にある子どもへ効果的な支援を行うためには、家族全体の支援が必要となる場合が多数を占めている。連携している他機関も含め、現在の支援施策では対応が困難で、有効な方策が見出せない家庭への支援に苦慮している。</p>
16 ひとり親家庭への就労支援による就職件数【116】【117】	子育て支援課	14件	20件	13件	4件	10件	8件	6件	30.0%	▼	<p>【実績値に関する意見】 ひとり親家庭は就業率こそ高いものの、依然として非正規雇用者の割合が高く、不安定な雇用形態によって経済的に厳しい状況である。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 就労支援を希望する者については、本人の現状の働き方に見合った環境を考えた場合、経済的かつ精神的にも現状維持が適しているケースが多くあったため、子どもに関する手続きなどへの声かけやフォローを行うなど、きめ細かな対応に心がけた。</p>
17 ◎地域での子どもの居場所の整備(学べる場・子ども食堂)【129】【197】	子ども・若者課	9か所	24か所	24か所	26か所	28か所	27か所	31か所	100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 現在活動中の団体としては、学べる場14か所、子ども食堂17か所の計31か所ある。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 誰もが行きやすい居場所とは別に、地域や事業所などが持つさまざまな強みを活かしながら、子どもたちを取り巻く背景や環境、個別の課題に応じた「課題解決型の居場所づくり」を展開した。</p>

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値						令和6年度		令和6年度実績値等に対する担当課意見
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
4 子ども・若者と子育て家庭にやさしいまちづくり												
18	夜9時までに寝ている3歳児の割合 【150】【180】	母子保健課	54.6%	59.0%	50.2%	52.9%	49.2%	51.3%	50.6%	85.8%	▼	<p>【実績値に関する意見】 乳幼児健康診査にて「規則正しい生活リズム」の啓発チラシを配布し、各健康診査や相談の場において生活リズムの見直しが必要な場合は個別指導を行ったが、目標値を達成することはできなかった。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 こどもにとって適切な睡眠時間を確保することは心身の健康にとって重要であるため、今後も乳幼児健康診査や相談および教室などあらゆる機会を通して、保護者の生活実態に応じた生活リズムの啓発や個別指導を行っていく。</p>
19	むし歯のない3歳児の割合 【150】【180】	母子保健課	84.7%	90.0%	89.6%	89.0%	91.9%	92.6%	91.0%	100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 幼児健診で歯科健診、歯みがき指導やフッ素塗布を実施することができた。また、幼児健診の保健指導時にチラシを配布したり、健診会場に歯科に関するパネルを複数掲示したりして、広く歯科に関する啓発を行った。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 引き続き、幼児健診で歯磨き指導や口腔内の清潔について啓発していく。また、令和7年度から歯科のホームページの内容を充実させ、ホームページに入れるQRコードを載せたパネルを健診会場に掲示するなど、様々な方法で歯科に関する啓発を実施していく。</p>
20	小学校区単位で結成される自主防犯活動団体結成数 【160】	まちづくり推進課	13団体	17団体	13団体	13団体	13団体	13団体	13団体	76.5%	□	<p>【実績値に関する意見】 市内17学区のうち、現在も13学区で自主防犯活動団体が結成されている状況であり、新たな団体結成には至っていない。引き続き、残りの小学校区に対して、新規結成に向けた周知や支援を行っていく。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 現在、自主防犯活動団体は13団体あるが、各団体の活動実態は様々である。また、残り4学区においては小学校区単位での団体結成は進んでいないものの、犬上・彦根防犯自治会の各支部がその地域で活動を行っているなど、市内全体としては防犯意識が一定程度高い状況にある。そのため、指標自体の在り方については見直しを検討する必要があると考えている。</p>
21	子ども110番の家の設置数 【160】【163】	少年センター	2,069か所	2,236か所	2,083か所	2,066か所	2,057か所	2,067か所	2,078か所	92.9%	△	<p>【実績値に関する意見】 新規登録 18軒、取消 7軒</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 11月を「子ども110番の家」推進月間とし、各学区(地区)青少年育成協議会において設置への協力依頼を行っている。また、「子ども110番の家」に関連した研修会を各学区(地区)で実施するなど、啓発にも取り組んでいる。</p>
22	◎養育支援訪問件数 【211】【219】	子育て支援課	1,253件	1,549件	1,028件	1,147件	1,566件	1,490件	1,699件	100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 目標は概ね達成できている。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 訪問のほか、関係機関とのケース会議の開催などが多く、その対応や記録作成などに追われており、支援方針の検討や見直しを行う時間が相対的に少なくなっている。効果的な支援を行うために訪問は必須であるものの、その目的や質、記録作成の効率化などに取り組む必要がある。</p>

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値						令和6年度		令和6年度実績値等に対する担当課意見
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
23 乳児家庭全戸訪問率【149】【223】	母子保健課	98.0%	100.0%	65.9%	82.0%	80.2%	96.4%	92.9%	92.9%	▼	<p>【実績値に関する意見】 概ね生後4か月までに訪問を実施できた家庭は、92.9%と目標は達成できなかった。理由としては、児の長期入院や、長期里帰りでの早期の訪問が実施できないケースがあるためである。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 児の長期入院や、長期里帰りでの早期の訪問が実施できない場合は、保護者への電話連絡による状況確認や時期を遅らせて訪問するなどの対応をしている。引き続き、家庭の孤立を防ぎ、乳児の健全な育成環境の整備を図ることができるよう、訪問を実施していく。</p>	
5 すべての子どもが希望をもって成長できるまちづくり												
24 家庭支援推進保育士の配置【47】【117】	幼児課	11園	13園	11園	12園	13園	13園	13園	100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 民間園が積極的に配置をしたことで、公立・民間合わせ13園に家庭支援推進保育士を配置し支援が必要な家庭に対応できた。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 支援が必要な家庭が多い中で、職員配置ができず、専任化できていない園が複数園ある。配置を促すことが必要。</p>	
25 就学援助認定基準の拡大【178】	学校教育課	生活保護の基準の1.2倍	拡大	継続	生活保護の基準の1.2倍	生活保護の基準の1.2倍	生活保護の基準の1.2倍	生活保護の基準の1.2倍	-	□	<p>【実績値に関する意見】 前年からの変更はない。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 申請にかかる保護者の負担を軽減するため、電子申請サービスからの申請受付を開始した。学校や窓口へ申請書を提出する必要がなく、24時間申請可能であるため、多くが電子申請サービスからの申請となった。</p>	
26 スクールソーシャルワーカーの配置【183】【222】	学校支援・人権・いじめ対策課	1名	2名	2名	2名	3名	3名	3名	100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 市内全ての小中学校に派遣し、適切な見立てのもと、児童生徒やその保護者への支援の充実を図った。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 引き続き、スクールソーシャルワーカーを窓口に関係機関等との連携に努め、支援体制のさらなる充実を図っていきたい。</p>	
27 【再掲】 ◎地域での子どもの居場所の整備 (学べる場・子ども食堂) 【129】【197】	子ども・若者課	9か所	24か所	24か所	26か所	28か所	27か所	31か所	100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 現在活動中の団体としては、学べる場14か所、子ども食堂17か所の計31か所ある。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 誰もが行きやすい居場所とは別に、地域や事業所などが持つさまざまな強みを活かし合いながら、子どもたちを取り巻く背景や環境、個別の課題に応じた「課題解決型の居場所づくり」を展開した。</p>	

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値						令和6年度		令和6年度実績値等に対する担当課意見
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
28 若者の居場所の整備 【102】【199】	子ども・若者課	2か所	3か所	2か所	2か所	5か所	4か所	6か所	100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 若者の居場所として限定しているのではなく、色々な世代が交流できるような場として開設しておられる団体が増えており、地域の中での見守り合いにもつながっている。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 若者の社会的孤立を防ぎ、無理なく社会と関わられるようにしたり、支援につなぐ入口としての役割を担う居場所の存在は大きい。</p>	
29 ひとり親家庭の子どもに対する学びと食の支援による居場所参加人数 【200】	子育て支援課	12人	16人	6人	8人	5人	10人	9人	56.3%	▼	<p>【実績値に関する意見】 令和5年度から、参加対象者を中学生だけでなく高校生等にまで広げることで参加人数が増加した。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 ひとり親家庭の居場所では、子どもだけでなく親支援も重要であり、孤立を防ぎ安心感を高められるように取り組んだ。</p>	
30 子育て短期支援事業受入施設数 【38】【201】	子育て支援課	4か所	6か所	4か所	4か所	4か所	8か所	8か所	100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 滋賀県が委託する里親支援機関を経由して把握した子育て短期支援事業の受入意思がある里親に対して、市から協力を依頼することで、従前から委託をしていた4軒の里親と委託契約している。 また、新たに市内に設置された自立援助ホーム2か所とも5年度途中に委託契約を結び、合計8か所の受入施設(里親)を確保することができた。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 委託契約を締結した里親は増加したものの、緊急時や課題を抱える児童の受入は難しい状態であり、里親の利用実績は低調である。このため、比較的課題の少ない児童を計画的に新規の里親に依頼するなどの取組を検討していく。</p>	
31 自立支援教育訓練給付・高等職業訓練促進給付金受給者数(のべ人数) 【206】	子育て支援課	21人	52人	32人	35人	36人	37人	40人	76.9%	△	<p>【実績値に関する意見】 自立支援教育訓練補助金は、講座により受講期間が年度をまたがることや、修了まで到達されない事例があり、令和6年度中に対象講座指定をした7件のうち、補助金を交付した実績は2件であった。高等職業訓練促進給付金については、申請および交付実績共に1件であった。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 児童扶養手当の新規申請などでも案内はするものの受給希望者が少ない傾向にあるのは、学び直しや資格取得のための時間的、生活的、そして精神的な余裕のなさによるものと考えられる。</p>	
32 ひとり親家庭向け市営住宅の募集 【214】	住宅課	1件/年間	1件/年間	1件/年間	1件/年間	1件/年間	1件/年間	0件/年間	0.0%	▼	<p>【実績値に関する意見】 令和6年度は、空き室の関係で、ひとり親世帯向け住宅の募集を実施できなかったが、一般募集において、1件の入居がありました。ひとり親世帯からの一定のニーズがあることは募集期間内外で確認できているため、引き続き公営住宅の需給推移(空室状況)を注視しながら、ひとり親世帯の入居希望に対して支援を継続していく。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 ひとり親世帯からのニーズがあっても、部屋数(空き室数)に限りがあり、供給には限界がある。公営住宅以外での支援を模索する必要がある。</p>	

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値						令和6年度		令和6年度実績値等に対する担当課意見
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
33 【再掲】 ◎彦根市子ども・若者支援地域協議会実務者会議の参加団体・機関等数【再掲】 【3】【81】【82】	子ども・若者課	31団体	40団体	38団体	49団体	33団体	39団体	31団体	77.5%	□	<p>【実績値に関する意見】 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を包括的に支援し関係機関等のネットワークの構築を図るために、代表者会議を1回(要保護児童対策地域協議会と同日開催)、実務者会議を2回実施した。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 実務者会議については、支援者同士の情報共有や日頃の課題を話し合える有意義な会議となった。ただ、当事者の就労準備を支援するような地域資源の開拓にはなかなか至らなかった。次年度からは両協議会を統合し、新たな協議会を設置することから、子どもから若者に至る切れ目ない支援に向けた連携強化を一層図っていきたい。</p>	
34 ◎地域資源を掘り起こし、育成する体制の構築【230】	子ども・若者課	整備	構築	整備	整備	整備	整備	整備	-	□	<p>【実績値に関する意見】 地域での子どもの居場所の整備、「課題解決型の居場所づくり」のモデル実施、「子ども『安心』サポートボランティア」養成講座の開催、分野の立場を超えた「顔の見える関係づくり」や強みを活かし合う連携の場・機会の充実、ヒトづくり、意識づくりに関する事業などについて、彦根市社協へ業務を委託した。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 マンパワーや限られた予算の中では、よりニーズの高い分野やテーマに絞った取組を重点的に進めていくことが重要である。</p>	
6 教育・保育環境の整備												
35 利用者支援事業実施箇所数【33】【43】【136】	子ども・若者課 健康推進課	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 昨年度に引き続き彦根市福祉センターと彦根市くすのきセンターの2か所で子育て家庭や妊産婦がニーズに合わせて情報を提供する利用者支援事業を実施した。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 福祉センターでは保育サービス等に関する相談を受け、必要に応じて施設や事業等の紹介を行った。</p>	
36 放課後児童クラブ受入児童数【71】～【74】	生涯学習課	1,393人	1,543人	1,652人	1,541人	1,501人	1,572人	1,614人	100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 希望する児童をすべて受け入れることができた。子どもたちが考えたイベントを実施したり、友達と協力して活動を作り上げたり、特色ある保育に取り組んだ。また、地域で活躍する人材との交流として、読み聞かせや人形劇、楽器の演奏会など鑑賞したり、体を動かしたりする体験をすることで、地域の方々と世代間交流を図るなど、児童の健全な育成に取り組んだ。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 各小学校に付属する形で事業展開していることから、下校から児童クラブ利用への安全な引継ぎが行えるように、各校の状況に応じてICTを活用した連携を行っている。日々安全に利用できるよう、下校時の児童管理と連携して事業に取り組んだ。</p>	

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値						令和6年度		令和6年度実績値等に対する担当課意見
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
37 【再掲】 子育て短期支援事業受入施設数 【38】【201】	子育て支援課	4か所	6か所	4か所	4か所	4か所	4か所	8か所	8か所	100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 滋賀県が委託する里親支援機関を經由して把握した子育て短期支援事業の受入意思がある里親に対して、市から協力を依頼することで、従前から委託をしていた4軒の里親と委託契約している。 また、新たに市内に設置された自立援助ホーム2か所とも5年度途中で委託契約を結び、合計8か所の受入施設(里親)を確保することができた。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 委託契約を締結した里親は増加したものの、緊急時や課題を抱える児童の受入は難しい状態であり、里親の利用実績は低調である。このため、比較的課題の少ない児童を計画的に新規の里親に依頼するなどの取組を検討していく。</p>
38 【再掲】 乳児家庭全戸訪問の訪問割合 【149】【223】	母子保健課	98.0%	100.0%	65.9%	82.0%	80.2%	96.4%	92.9%	92.9%	92.9%	▼	<p>【実績値に関する意見】 概ね生後4か月までに訪問を実施できた家庭は、92.9%と目標は達成できなかった。理由としては、児の長期入院や、長期里帰りや早期の訪問が実施できないケースがあるためである。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 児の長期入院や、長期里帰りや早期の訪問が実施できない場合は、保護者への電話連絡による状況確認や時期を遅らせて訪問するなどの対応をしている。引き続き、家庭の孤立を防ぎ、乳児の健全な育成環境の整備を図ることができるよう、訪問を実施していく。</p>
39 【再掲】 養育支援訪問件数 【219】【228】	子育て支援課	1,253件	1,549件	1,028件	1,147件	1,566件	1,490件	1,699件	1,699件	100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 目標は概ね達成できている。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 訪問のほか、関係機関とのケース会議の開催などが多く、その対応や記録作成などに追われており、支援方針の検討や見直しを行う時間が相対的に少なくなっている。効果的な支援を行うために訪問は必須であるものの、その目的や質、記録作成の効率化などに取り組む必要がある。</p>
40 【再掲】 地域子育て支援センターの整備 【34】【35】【39】	子ども・若者課	3か所	4か所	3か所	3か所	4か所	4か所	4か所	4か所	100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 令和4年度から4か所目を開設し、目標を達成することができた。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 週5日開設し、交流、相談、情報提供および地域の方による作品展示や読み聞かせ等、地域支援の取組を実施した。</p>
41 保育所における一時預かり事業の実施 【53】	幼児課	15園	18園	10園	13園	16園	17園	20園	20園	100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 一時預かり事業専任の職員配置を積極的に行ったことにより、目標値以上の園で実施することができた。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 利用児童数が園によって大きく違うことから、地域ニーズに応じ実施園を集約、廃止するなどの検討が必要。</p>

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値					令和6年度		令和6年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
42 病児・病後児保育事業の利用人数 【37】	幼児課	564人	660人	202人	454人	535人	951人	864人	100.0%	○	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されて以降、利用者は増加を続け令和5年度は951人であったものの、令和6年度は864人とコロナ禍後初めて減少に転じた。  【実績値以外の事項に関する意見】 昨年度実施した4町の子育て世帯向けの利用者アンケートの結果を分析し、より利用しやすい施設となるよう検討を重ねる。
43 ファミリー・サポート・センター提供会 員の確保 【42】	子ども・若者課	181人	194人	170人	155人	154人	154人	141人	72.7%	▼	【実績値に関する意見】 委託先変更周知後、近年活動がなかった会員の退会が例年より多かった。  【実績値以外の事項に関する意見】 今後も会員増加を図るために、会員向け活動および事業の周知等を積極的に行う。
44 妊婦健康診査 受診回数 【133】	母子保健課	10,851回	13,300回	9,553回	9,026回	9,006回	8,230回	8,243回	62.0%	▼	【実績値に関する意見】 母子健康手帳交付時の面接で妊産婦健診について説明をし、妊産婦健康診査受診券を発行しているが、月平均60件前後の妊娠届出数で年々減少傾向である。それに伴って妊婦健康診査受診回数も減少している。  【実績値以外の事項に関する意見】 年々妊娠届出数、出生数は減少し、近年は横ばい状態であるため、目標値は達成されていないが、妊娠届出者については平均11.7回の健診を受けることができおり、妊娠中に必要な回数の受診はできていると言える。今後も妊娠中の母体や胎児の健康を守るうえで重要な妊婦健診について、必要な回数の受診ができるようにするため、引き続き費用助成を行っていく。
<b>計画目標値の達成率</b>									<b>84.4%</b>		

※分野と指標の下の数字【】は、「彦根市子ども・若者プラン(第2期)」の第4章施策の展開に掲載されている施策の番号になります。

※達成率は、(令和6年度状況÷目標値)を%で表したものです。また、100%を超える場合は、100%としています。計算式が異なる場合は「-」としています。

※達成状況は、目標値が達成できた場合は○、目標値は達成できなかったが現況値よりも改善された指標は△、現況値から変更が無かった指標は□、現況値よりも後退した指標は▼としています。